岩盤ボーリング柱状図

調査名	主要地方道西城比和線外測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.4	調査位置	広島県庄原市比和町三河内			北緯	34° 58′ 8.7650″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	平成30年 9月14日～平成30年 9月18日			東経	133° 02′ 22.7496″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	653.09m	角度	180° 上 下 90° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	24° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05型	
総削孔長	17.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12	ポンプ	GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1	651.19	1.90		表土	黒灰								有機質な粘性土質砂（黒ボク）。植根片混入。																			
2				崩積土	茶灰 ～ 淡褐灰								GL-1.90～11.00mは崩積土。全体的に、φ20mm以下の礫が混る粘性土質砂。GL-1.90～2.80mはキビ土も混じる。																			
3																															
4																															
5														9/15 5.15																	
6																															
7														9/17 6.77									9/14				0	0			
8													GL-7.45～10.00mはひん岩や凝灰岩の組織を残している。	9/18 7.85																		
9																															
10																															
11	642.09	11.00											GL-10.00～11.00mは土砂化しており、岩組織は残していない。凝灰岩の礫が細片化している。																		
12	641.09	12.00		風化凝灰岩		w4	h1	C	V	c	DM	C[0](100)	礫状を呈す凝灰岩。																			
13				凝灰岩	暗灰	w4	h1	C	V ～ Ⅳ	c	DH	C[0](100)	GL-12.00～17.00mの凝灰岩は礫状～短柱状を呈す。																			
14												C[0](100)	所々に風化の程度が弱い箇所があり、その部分はコア状に採取される。																			
15												C[0](100)	GL-14.30～14.80mにかけて約80°の割れ目が発達し、付近では酸化が進んでいる。																			
16												C[0](100)																			
17	636.09	17.00										C[0](100)																			
18																															
19																															
20																															
21																															
22																															